

京田辺市産業振興ビジョン検討ワークシート（農業分野）

1. 現状と課題（検討材料）

（委員名 _____）

分類	現状と課題	
	市内WSとりまとめ	委員の視点（追加や修正など）
農業者	<ul style="list-style-type: none"> ● 集団化(法人化)の中心となる人物が少ない。 ● 機械の共同利用は使用時期が重なる問題がある。 ● 高付加価値作物を作っている人が少ない。 ● 農家の経営感覚が不足している。(補助金、減価償却費等) ● やる気のある人への集約が難しい。 	
農産物	<ul style="list-style-type: none"> ● 大規模化できるまちではないので、少量多品種でグループ化せざるを得ない。 ● コメは売れているが投資に見合わない。 ● 京田辺でしか食べられないものが無い。 ● 現状の特産品はメインにならない。(野菜やお茶) ● 野菜のカットや、パンなどに二次加工できるような加工場がない。(あると農産物の高付加価値化につながる。) 	
農地・環境	<ul style="list-style-type: none"> ● ほ場整備率が低い。 ● 農地集積が困難。(土地の価格、土質、農機具庫との距離、農地解放時の記憶等) ● 一大産地になるには面積が足りない。 ● 耕作しにくい土地は耕作放棄になりやすい。 ● 新規就農者は信用力が低く、土地が借りにくい。 	
流通・販売	<ul style="list-style-type: none"> ● 直売所の独自性が薄い。 ● 直売所が幹線道路沿いに無い。また、拡張することが難しい。 ● 直売所でワンストップの買物が出来ない。(肉や魚が無い。) 	
PR・その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 関西近郊で「京野菜」のブランドは活かしきれない。 ● 京田辺産野菜がどこで売っているかという情報がない。 ● 消費方法のPRができていない。 ● 「京やましろ新鮮野菜」を約6割が知らない。 ● 市民農園は、利用率の高いところと低いところがある。 ● 子どもがいる世帯で農業体験のニーズがある。 	

めざす将来像のイメージは？

2. 農業振興の理想的な将来像（ビジョン）へのキーワード

目指す将来像の実現に向けて取り組むべき方策は？

3. 農業分野の具体的な取り組み方策

分類	具体的取り組み方策	
	既存の取り組み（代表的なもの）	新たな取り組み方策（新規・拡大）
農業者	<input type="checkbox"/> 農業共同利用施設・機械等整備事業補助金 <input type="checkbox"/> 田辺ナス共同選果場建設事業（H27 実施）	
農産物	<input type="checkbox"/> 全国等茶品評会出品奨励 <input type="checkbox"/> ナス・エビイモ農家育成事業 <input type="checkbox"/> 普賢寺地域活性化事業（農業技術保存等）	
農地・環境	<input type="checkbox"/> 農地の集積の支援 <input type="checkbox"/> 普賢寺地域活性化事業（共同利用資材等整備） <input type="checkbox"/> 市単独土地改良事業 <input type="checkbox"/> 市単独農業基盤整備事業 <input type="checkbox"/> 中山間地域農地等保全支援（中山間地域等直接支払交付金） <input type="checkbox"/> 多面的機能支払交付金（農地・水・環境保全対策交付金） <input type="checkbox"/> 有害鳥獣駆除事業・被害軽減対策事業	
流通・販売	<input type="checkbox"/> 京田辺産米の販路拡大（地産地消）	
PR・その他	<input type="checkbox"/> 転入者向け茶器及び玉露セットプレゼント事業 <input type="checkbox"/> 京田辺市茶まつり開催 <input type="checkbox"/> 茶業振興看板設置	

京田辺市産業振興ビジョン検討ワークシート（商業分野）

1. 現状と課題（検討材料）

（委員名

）

分類	現状と課題	
	市内WSとりまとめ	委員の視点（追加や修正など）
顧客	<ul style="list-style-type: none"> ●小売吸引力が弱く、市外に消費が流出している傾向がある。 ●市内立地のデメリット1位＝競合先が多い。 ●個店だけでは品揃えが悪く、大型店の利用者が多い。 ●買物に困難を感じている人が3割。（遠い・荷物が重い） ●市民は市内であり外食をしていない。 	
担い手	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員数ベースでは、第3次産業（卸・小売・サービス・飲食等）が20年で2倍と増加傾向。 ●年間商品販売額（小売）はH19から減少傾向。 ●経営課題の1位＝人材確保。 ●同志社大学文系学部移転によりアルバイト雇用に影響大。 	
物 （店・商品）	<ul style="list-style-type: none"> ●現在の業況＝商業者の半数以上が下降傾向と回答（※製造業は上昇傾向）。要因は販売量・顧客減少。 ●大型ショッピングモールより特徴ある個人店舗を求める市民が多い。 ●市民が個店に求めるものは「高い品質と店構え・雰囲気」。 ●味や雰囲気にこだわりのある飲食店を求める市民の声が多い。 ●大型店スーパーなどでは直売所の農産物が非常に人気。 	
土地・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●商業者にとって、各地域の商業集積地に対する市のまちづくりのビジョンが見えないという声が多い。 ●よそ行きの服以外の品目で、自家用車での買物が最も多い。 ●キララ商店街の店舗数が大幅減少。 ●キララ商店街は道が細く、車でのアクセスが悪い。 ●キララ商店街、6割以上が「めったに行かない」「知らない」。また駐車場の要望が最も高い。 	
PR	<ul style="list-style-type: none"> ●市民の店舗情報の入手手段は、知り合いからの口コミ。 ●人口増加・維持、まちのイメージ・ブランド力向上が重要。 	

めざす将来像のイメージは？

2. 商業振興の理想的な将来像（ビジョン）へのキーワード

--

目指す将来像の実現に向けて取り組むべき方策は？

3. 商業分野の具体的な取り組み方策

分類	具体的取り組み方策	
	既存の取り組み（代表的なもの）	新たな取り組み方策（新規・拡大）
顧客	<input type="checkbox"/>	
担い手	<input type="checkbox"/> 商工会への支援（補助金等） <input type="checkbox"/> 中小企業の資金繰りに対する支援（保証料・利子補給金事業等）	
物 （店・商品）	<input type="checkbox"/> 誰もが利用しやすい店舗づくりへの支援（バリアフリー改修助成金等）	
土地・環境	<input type="checkbox"/>	
PR	<input type="checkbox"/> 店舗の魅力等を発信する機会の創出（産業祭開催等）	

京田辺市産業振興ビジョン検討ワークシート（工業分野）

1. 現状と課題（検討材料）

（委員名

）

分類	現状と課題	
	市内WSとりまとめ	委員の視点（追加や修正など）
担い手	<ul style="list-style-type: none"> ●製造事業所数は近年減少傾向。（特に小規模事業所は10年で半減） ●労働力人口、求職・求人数とも一定規模あるが、充足数が低い ●京田辺市立地のデメリットとして「人材確保が困難」と回答する企業が多い。 ●経営課題の1位＝人材確保。 ●事業所廃止理由の1位＝後継者不足。 ●力を入れている取組の1位＝人材育成・後継者確保。 ●田辺高校とのつながりのある企業が多い。（雇用） ●同志社からの新卒応募がない。 	
製品・販路	<ul style="list-style-type: none"> ●企業間ネットワークを求める事業者が多い。 ●中小企業全体で仕事を受けられる仕組みが欲しい企業がある。 ●市内大手企業と中小企業との関係が薄い。 ●調達先が市内で見つからない企業が多い。 ●力を入れている取組の2位＝新規分野進出。 ●同志社大学・女子大学が立地しているが、産学連携が進んでいない。 ●学研都市研究機関が近隣に立地しているが事業高度化など活用が出来ていない。 	
土地・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●物流上の道路利便性は非常に高いが市内交通が脆弱。 ●バス利便性が悪く（本数など）、通勤に使えない。 ●国道307号（甘南備台）、山手幹線・八幡木津線（大住工専）の朝・夕の渋滞が酷く通勤に支障が出ている。 ●企業立地ニーズは高いが新たな事業用地がない。 ●工場立地法の緑地率低減、駐車場用地の確保など、既存用地有効活用が望まれている。（事業所拡張対策） ●インキュベーション施設から卒業した後の受け皿がないため、市外に流出している。（大学発ベンチャーなど技術力のある研究開発型企業は誕生している） 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●災害時の応援協力（ボランティアへの会議室提供、備蓄物資提供）など地域貢献に取り組みたい企業が出てきている。 ●市と企業において、災害時の細かな情報共有がない。（特に大手は従業員規模において帰宅困難者など地域への影響が大きい。） ●支援情報入手に便利な媒体がない。 	

めざす将来像のイメージは？

2. 工業振興の理想的な将来像（ビジョン）へのキーワード

--

目指す将来像の実現に向けて取り組むべき方は？

3. 工業分野の具体的な取り組み方策

分類	具体的取り組み方策	
	既存の取り組み（代表的なもの）	新たな取り組み方策（新規・拡大）
担い手	<input type="checkbox"/> 中小企業の資金繰りに対する支援（保証料・利子補給金事業等） <input type="checkbox"/> 商工会への支援（補助金等）	
製品・販路	<input type="checkbox"/> 中小企業売込み隊事業による国内外への販路開拓支援 <input type="checkbox"/> 中小企業の自社製品・技術開発への支援（補助金等） <input type="checkbox"/> 中小企業の産業財産権取得、産学連携への支援（補助金等） <input type="checkbox"/> 大学等の研究成果と市内企業の連携による企業の事業高度化促進	
土地・環境	<input type="checkbox"/> 府・近隣市町と連携した企業誘致活動	
その他	<input type="checkbox"/> 店舗の魅力等を発信する機会の創出（産業祭開催等）	

京田辺市産業振興ビジョン検討ワークシート（観光分野）

1. 現状と課題（検討材料）

（委員名

）

分類	現状と課題	
	市内WSとりまとめ	委員の視点（追加や修正など）
観光客	<ul style="list-style-type: none"> ●観光入込客数、山城地域でワースト4(9/12位)。 ●甘南備山を中心に山歩きの観光客増加。春秋に高齢グループが多く来る。 ●JRふれあいハイク、一休さんウォークなどハイキングイベント需要大、ウォーキングブーム到来。 ●一休寺などの寺社はシーズンとシーズンオフで入込客数の差が大きい。 ●寺社以外の魅力が乏しい。 	
施設・商品	<ul style="list-style-type: none"> ●バーベキュー場など、レポートできる気軽なレジャー施設の需要が高い。 ●観光農園など、新しい農業の取組を始めたい農家がいる。 ●甘南備山の観光客数は多いが消費が伴わない。 ●宿泊施設の閉鎖により、観光客・消費額大幅減。 ●大手企業等から宿泊施設誘致の希望が多い。 ●トイレ、駐車場、お土産屋が充実していない。 	
担い手	<ul style="list-style-type: none"> ●観光ボランティアの組織、多彩な地元団体（ふれあいの駅、茶業関係者、里山の会、ひまわりの会、ボランティアガイド等）はあるが連携できていない。 ●観光振興の担い手（後継者）づくりが課題。 	
PR	<ul style="list-style-type: none"> ●観音寺・寿宝寺などの観光施設の認知度が低い。 ●大住単人舞やイベント参加を通じた霧島市や習志野市との交流が進んでいる。 ●東京オリンピックに向けた誘客の取組・PRをする必要がある。 	
サービス・イベント・連携	<ul style="list-style-type: none"> ●既存イベントの集客力減少。 ●市外の人に知られている観光施設は、一休寺と木津川サイクリングロード。 ●観光案内所の場所が分かりにくい。 ●霧島市や習志野市など友好都市との連携を進めるべき。 	
周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> ●京都と奈良の中間に位置し、通過点になってしまっている。 ●観光客用の歩道が未整備で、歩いて楽しむことが出来ない。 ●市内の観光地間の公共交通アクセスが悪い。 ●大都市近郊でありながら、気軽に農村の雰囲気を楽しむ。 	

めざす将来像のイメージは？

2. 観光振興の理想的な将来像（ビジョン）へのキーワード

--

目指す将来像の実現に向けて取り組むべき方策は？

3. 観光分野の具体的な取り組み方策

分類	具体的取り組み方策	
	既存の取り組み（代表的なもの）	新たな取り組み方策（新規・拡大）
観光客		
施設・商品		
担い手	<input type="checkbox"/> 観光ボランティアガイドへの支援 <input type="checkbox"/> 観光協会への支援	
PR	<input type="checkbox"/> 旅行会社へ旅行商品造成のための京都観光プロモーション会議へ参加 <input type="checkbox"/> 観光大使派遣事業（一休さん等）	
サービス・イベント・連携	<input type="checkbox"/> 花見ウォーク等観光協会事業支援 <input type="checkbox"/> JRふれあいハイキング開催支援 <input type="checkbox"/> 観音寺ライトアップ事業 <input type="checkbox"/> 一休とんち大賞開催	
周辺環境	<input type="checkbox"/> 普賢寺菜の花畑育成事業 <input type="checkbox"/> 椿本チエイン千本桜一般開放事業 <input type="checkbox"/> 一休とんちロード整備 <input type="checkbox"/> 甘南備山観光施設整備（トイレ・展望台など）	